



【農林水産部】 「沖縄地域スマート農業サミット・ 南大東村現地検討会」を開催しました ～スマート農業の加速化に向けて～

No.6



自動操舵によるスマート農機の実演

農林水産省では、現在、ロボット、AI、IOTなどの先端技術を活用して超省力化・高品質生産を実現する新たな農業「スマート農業」の社会実装を推進しています。この一環として、今年度から全国69地区で、スマート農業を実証するプロジェクトが開始され、沖縄県では南大東村において「さとうきびの生育情報に基づく精密栽培管理によるスマート農業体系の実証」が進められています。沖縄総合事務局では、本プロジェクト



シンポジウムの様子
農業実証コンソーシアムとの共催で「沖縄地域スマート農業サミット・南大東村現地検討会」を開催しました。

催しました。

スマート農機の実演会では150人ほどの参加があり、自動操舵（そうだ）による農機での線引きやさとうきびの植付け、ドローンによる生育状況の確認などについて、作業実演・紹介が行われました。

引き続き行われたシンポジウムでは、国の取組や実証事業に関する講演の後、全国でのスマート農業の取組事例やスマート農機の普及に向けた課題（低コスト化など）について、活発な意見交換が行われました。

沖縄総合事務局では、労働不足の解消や農作業の軽労化などを図るため、スマート農業の社会実装に向けた取組を推進していきます。

農林水産部生産振興課
☎ 098-866-1653